

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	男女共同参画課	職	課長	氏名	本山直美
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革	「男女共同参画社会」という用語の周知度	%	100 (H27)	67.5 (H22)	(H24)	
施策2	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大	県審議会等における女性委員の割合	%	50.0 (H32)	31.6 (H23)	(H24)	
施策3	女性の人権が推進・擁護される社会の形成	「女性相談支援センター」の周知度	%	100 (H27)	29.0 (H22)	(H24)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進	1 大学におけるワークショップ開催回数	回	5 (H24)	3 (H23)	(H24)	若者の男女共同参画推進事業	県民	800			
			2 男女共同参画推進宣言企業認定数	企業	100 (H24)	(H23)	(H24)	企業の男女共同参画推進事業費	企業	1,800			
			3 男女共同参画出前講座開催回数	回	12 (H24)	13 (H23)	(H24)	男女共同参画推進ネットワーク事業費	男女共同参画推進員	1,270			
施策2	課題1	方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大	男女共同参画推進宣言企業認定数	企業	100 (H24)	(H23)	(H24)	再掲 企業の男女共同参画推進事業費	企業	1,800			
			1 女性県政会議参加者数	人	1,300 (H24)	1,230 (H23)	(H24)	女性県政会議負担金	石川県婦人団体協議会	1,250			
	課題2	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成	2 県政バス運行台数	台	200 (H24)	198 (H23)	(H24)	女性県政学習バス開催費	県民	11,870			
3 ビジネススキルアップ講座受講者数			人	180 (H24)	176 (H23)	(H24)	いしかわ女性基金費(補助金)	県民	6,434				
施策3	課題1	女性に対するあらゆる暴力の根絶	女性に対する暴力をなくすシンポジウム参加者数	人	100 (H24)	100 (H23)	(H24)	配偶者等暴力対策費	県民	1,478			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 若者の男女共同参画推進事業	事業開始年度: H23	事業終了予定年度:	作 組 織: 男女共同参画課
	根拠法令・計画等: いしかわ男女共同参画プラン2011		成 職・氏名: 主事 平村 孝祐 者 電話番号: 076 - 225 - 1378 内線 3873

**事業の背景・目的**  
 平成22年に実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」によると「男は仕事 女は家庭」という考え方について、20代の若い世代では固定的性別役割分担意識が強くなっている。このことから、若い世代を対象に、自分が思い描く理想の生き方について考えるワークショップを実施し、多様な生き方を認め合う男女共同参画の理解(意識のチェンジ)の促進を図る。

**事業の概要**  
 ○大学におけるワークショップ  
 目的： 固定的役割分担意識にとらわれない生き方の必要性について気付きを促し、男女共同参画の理解、意識のチェンジを図る

- ・開催回数 5回(県内大学キャンパス等で開催)
- ・対 象 大学生
- ・内 容 県内の男女共同参画の状況説明  
 社会人としての体験を語る  
 →男女共同参画課若手職員  
 →自分らしい生き方の実践者 (例)男性保育士、女性消防士  
 ワークシートによる自分の意識の振り返り、意見発表

○若者向け啓発リーフレットの作成

- ・内 容 現役大学生が考える、私の未来
- ・規 格 A5 4ページ 10,000部
- ・利用方法 大学等へ配布  
 次年度以降、大学でのワークショップでテキストとして使用  
 各種イベントで配布

【参考】「男は仕事、女は家庭」の考え方について(H22意識調査より)  
 賛成派(賛成+やや賛成)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
女性	25.3%	24.4%	27.0%	22.4%	37.7%
男性	41.7%	17.9%	33.7%	42.7%	40.9%

これまでの見直し状況  
 H23年度実施内容  
 ワークショップの実施(県内大学3校)  
 若者の男女共同参画シンポジウムの開催

施策・課題の状況			
施策	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革	評価	
課題	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進		
	指標 大学におけるワークショップ開催回数	単位	回
	目標値	現状値	
	平成24年度	平成20年度	平成21年度
	5	-	-
		平成22年度	平成23年度
		-	3
		平成24年度	

事業費						
	(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算				1,000	800
	決算				930	
一般財源	予算				1,000	800
	決算				930	
事業費累計			0	0	930	1,730

評価		
	項目	評価
		左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	企業の男女共同参画推進事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度		作 組 織	男女共同参画課	
		根拠法令 ・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011				成 職・氏名	課長補佐(啓発普及GL) 青木 美紀
						者 電話番号	076 - 225 - 1378 内線 3871	

**事業の背景・目的**

男女雇用機会均等法や育児・介護休業法の改正など、企業における男女共同参画の枠組みづくりは着実に整備されてきているが、女性の登用が不十分な状況や男性の育児休業の取得が進んでいないなど、企業での男女共同参画の取組を更に進める必要があることから、企業の意識改革を促進するとともに、男女共同参画推進に向けた取組の実践を促す。

**事業の概要**

**1 「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」認定制度の創設**  
 男女共同参画推進に関する具体的な取組を宣言した企業等を「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」として認定し、その取組を支援する。

- ・対象 県内に事業所がある企業・団体等
- ・宣言の内容(下記に掲げる取組を1つ以上)
  - ポジティブ・アクション(積極的改善措置)推進の取組
  - ワークライフバランス(仕事と生活の調和)推進の取組
  - その他(男女が共に働きやすい職場環境づくり等)の取組
- ・認定書の交付
- ・シンボルマークの交付
- ・企業名や宣言内容の広報
- ・男女共同参画の推進に関する各種情報の提供

**2 シンボルマークの公募・選定**  
 「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」として認定された企業・団体等に交付するマークを公募し、選定する。

- ・対象 県内外に在住する者(年齢、プロ・アマ問わず)
- ・実施時期 6月～8月(マークの決定、公表、表彰は10月中を予定)
- ・選定方法 審査会より選定(最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点)

**3 「企業の男女共同参画取組事例集」の作成**  
 企業の男女共同参画推進に関する取組事例を紹介し、県内企業の取組の実践を促す。

- ・配布先 県内企業、企業団体等

**4 男女共同参画オフィストークの実施**  
 企業等に出向いて、ワークショップ形式による簡単な討論会を企業内研修や業界団体研修と連携して実施し、男女共同参画への理解促進と意識改革を促す。

- ・対象 経営者、人事担当、従業員
- ・実施時期 6月～3月

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革					評価
課題	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進					
	指標	男女共同参画推進宣言企業認定数			単位	企業
	目標値	現状値				
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	100	-	-	-	-	-
事業費						
	(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算					1,800
	決算					
財源	予算					1,800
	決算					
事業費累計			0	0	0	1,800
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	男女共同参画推進員ネットワーク事業費	<b>事業開始年度</b>	H11	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	男女共同参画課	
		<b>根拠法令 ・計画等</b>				<b>成 職・氏名</b>	主事 平村 孝祐	
							<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1378 内線 3873

**事業の背景・目的**  
 男女共同参画推進員は、男女共同参画推進条例に基づき、地域における男女共同参画の推進の担い手として、公募及び市町推薦により県が委嘱している。  
 推進員のスキルアップのための研修を実施するとともに、推進員経験者による男女共同参画推進応援団を設置し、地域における男女共同参画の普及啓発に取り組む。

**事業の概要**

- 1 男女共同参画推進員の設置
  - (1) 人数 95人(市町人口規模に応じて、公募及び市町からの推薦により委嘱)
  - (2) 役割
    - ・男女共同参画の普及啓発
    - ・県事業への協力
    - ・男女共同参画推進応援団との連携
  - (3) 推進員のスキルアップのための研修の実施  
 地区別研修会 加賀地区・能登地区 各1回
- 2 男女共同参画推進応援団の設置
  - (1) 応援団の構成 推進員経験者で構成
  - (2) 活動内容
    - ・市町の枠を超え広域的に男女共同参画の普及啓発(紙芝居等による出前講座を実施)
    - ・推進員の助言・指導
- 3 活動事例集の発行(年1回)

**これまでの見直し状況**  
 推進員人数見直し 198人(H13～20) → 95人(H21～)  
 男女共同参画推進応援団の設置(H21～)

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革				<b>評価</b>	
<b>課題</b>	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進					
	<b>指標</b>	男女共同参画出前講座開催回数			<b>単位</b>	回
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	12	-	21	22	13	

※出前講座はH21開始

事業費						
(単位:千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
<b>事業費</b>	<b>予算</b>	2,040	2,072	1,688	1,550	1,270
	<b>決算</b>	1,844	1,944	1,568	1,383	
<b>一般</b>	<b>予算</b>	2,040	2,072	1,688	1,550	1,270
	<b>決算</b>	1,844	1,944	1,568	1,383	
<b>事業費累計</b>		34,802	36,746	38,314	39,697	40,967

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 女性県政会議負担金	事業開始年度 S38	事業終了予定年度	作 組 織 男女共同参画課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名 主幹 東 勝彦 者 電話番号 076 - 225 - 1376 内線 3862

**事業の背景・目的**  
 女性の政治意識の高揚と県政に対する課題について話し合い、地域の発展に役立てることを目的に石川県婦人団体協議会が実施する「女性県政会議」の開催経費の一部を負担する。

**事業の概要**

- 1 開催地区・時期  
 金沢地区:8月  
 加賀地区:9月  
 中能登地区:10月  
 能登地区:11月
- 2 参加者  
 婦人団体の代表者  
 知事・関係部局長等
- 3 主催  
 石川県・石川県婦人団体協議会

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大	評価				
課題	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成					
	指標 女性県政会議参加者数	単位	人			
	目標値	現状値				
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	1,300	1,350	1,620	1,310	1,230	

事業費					
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算 1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
	決算 1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
一般	予算 1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
財源	決算 1,250	1,250	1,250	1,250	
事業費累計	34,000	35,250	36,500	37,750	39,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	女性県政学習バス開催費	事業開始年度	S39	事業終了予定年度		
		根拠法令 ・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011			
		作 組 織	男女共同参画課			
成 職・氏名	主事 平村 孝祐					
者 電話番号	076 - 225 - 1378 内線 3873					

**事業の背景・目的**  
 県及び市町等の施設の見学を通して県政等の理解と認識を深めることにより、女性の一層の社会参画の気運醸成を図る。

**事業の概要**  
 1 運行期間  
 5～11月

2 実施地区及び運行日

地 区	所 管	運 行 日	備 考
加賀地区	男女共同参画課	月～金曜日	一部、土日運行あり
中能登地区	中能登総合事務所	月～金曜日	
奥能登地区	奥能登総合事務所	月～金曜日	

- 3 対象
- ・女性県政学習バス(団体): 30～50人の女性団体・グループ
  - ・県政学習バス(個人) : 県内在住の成人男女
  - ・県政学習バス(地域団体): 30～50人の成人男女からなる団体・グループ
  - ・家族県政学習バス : 子ども(小学生)とその保護者
  - ・身体に障害のある女性のための県政学習バス: 身体に障害のある女性

4 運行計画台数

	加賀地区	中能登地区	奥能登地区	計
日帰り	77	68	52	197
一泊	-	-	2	2
小 計	77	68	54	199
身障者	1			1
合 計	78	68	54	200

これまでの見直し状況

**施策・課題の状況**

施策	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大	評価	
課題	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成		
指標	県政バス運行台数	単位	台
目標値	現状値		
平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
200	200	201	200
			平成23年度
			平成24年度
			198

**事業費**

(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	14,092	13,842	12,334	11,850	11,870
一般	12,049	11,779	11,595	11,542	11,870
財源	14,092	13,842	12,334	11,850	11,870
事業費累計	479,718	491,497	503,092	514,634	526,504

**評価**

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ女性基金費(補助金)	事業開始年度: H5	事業終了予定年度:	作 組 織: 男女共同参画課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名: 主任主事 浅井 沙織 者 電話番号: 076 - 225 - 1376 内線 3863

事業の背景・目的  
女性のエンパワーメント向上に資する各種事業に取り組んでいる(財)いしかわ女性基金の財政基盤の強化を図る。

事業の概要

1 補助額  
6,434千円

2 事業計画

- (1) 調査研究事業
- (2) 情報収集・提供事業
- (3) 研修・講座事業
- (4) 交流促進事業
- (5) 活動支援事業
- (6) 広報・啓発事業

これまでの見直し状況  
平成20年度より(財)いしかわ女性基金に対する財政支援の方法を貸付金から補助金に変更

施策・課題の状況						
施策	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大				評価	
課題	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成					
	指標	ビジネススキルアップ講座受講者数		単位	人	
	目標値	現状値				
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	180	82	137	121	176	

事業費					
(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	7,026	8,818	7,936	7,283	6,434
一般	7,026	8,818	7,936	7,283	6,434
財源	7,026	8,818	7,936	7,283	
事業費累計	9,537,026	9,545,844	9,553,780	9,561,063	9,567,497

評価	
項目	評価
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名: 配偶者暴力対策費	事業開始年度: H12	事業終了予定年度:	作 組 織: 男女共同参画課
	根拠法令		成 職・氏名: 専門員 朝田 潤子
	・計画等		者 電話番号: 076 - 225 - 1378 内線 3872

**事業の背景・目的**

暴力は、その対象の性別に関わらず許されるものではないが、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、男女共同参画社会形成の妨げとなっている。  
 女性に対する暴力のなかでも特に、配偶者からの暴力については家庭内で行われることから潜在化しやすく、また、婚姻前から暴力を受けている場合もあることから、若年者に向けた啓発が必要となっている。

**事業の概要**

- 1 関係機関の連携強化  
 DV対策支援等連絡協議会(39機関)  
 開催回数:全体会議 年1回、事例検討会 年1回  
 活動内容:情報交換、問題協議、人的ネットワーク構築、事例検討
- 2 職務関係者等に対する研修  
 (1)職務関係者研修  
 対象:相談機関、医療関係者等  
 内容:相談の受け方、DVが女性の健康に与える影響、二次被害の防止  
 (2)市町DV被害者支援体制整備研修  
 対象:市町DV担当職員、相談員、福祉担当職員等  
 内容:配偶者からの暴力被害者支援について
- 3 啓発普及  
 女性に対する暴力をなくすためのシンポジウムの開催  
 開催時期:平成24年11月(女性に対する暴力をなくす運動期間)  
 参集者:一般県民、職務関係者等 100人  
 デートDV防止セミナーの開催  
 高校生向け ・実施回数 1回×8校
- 4 経済的自立に向けた支援:委託(委託先:財団法人石川県女性センター)  
 (1)生活物資の調達  
 (2)就職支援
- 5 語り合う場の提供  
 毎月1回実施(計12回)

これまでの見直し状況

**施策・課題の状況**

施策	女性の人権が推進・擁護される社会の形成	評価	
課題	女性に対するあらゆる暴力の根絶		
指標	女性に対する暴力をなくすシンポジウム参加者数	単位	人
目標値	現状値		
	平成24年度	平成20年度	平成21年度
	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	100	75	51
	81	100	

**事業費**

(単位:千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	2,400	1,920	1,767	1,767	1,478
	決算	1,916	1,602	1,568	1,559	
一般	予算	2,400	1,920	1,767	1,327	986
財源	決算	1,916	1,602	1,568	1,117	
事業費累計			1,602	3,170	4,729	6,207

**評価**

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		